

NEWSLETTER

No.57

2 April 2014

・教室をめぐる動き 1
・2014年度地理学教室行事予定 1
・活躍する卒業生紹介(4) 2
・地理実習室および地理情報処理室(世田谷10号館)の利用について 5
・地理学教室・購入図書資料リスト(2013年度) 6
・地理学教室・購入主要備品リスト(2013年度) 9
・2014年3月卒業生の進路・就職先 9

【教室をめぐる動き】

2014年度を迎えるにあたり、次のような先生方の動きがあります。

<非常勤講師の退任>

長沼 佐枝 先生 「社会環境と人間」「人文地理概説」を担当

<非常勤講師の新任>

小泉 諒 先生 「社会環境と人間」「人文地理概説」を担当

<学外派遣研究員から復帰>

長谷川 均 先生 2013年度、学外派遣研究員として1年間校務より離れていました

今年度の専攻主任・学年担当・大学院幹事は以下の各先生です。

専攻主任 磯谷 達宏 1年担任 加藤 幸治 2年担任 野口 泰生
3年担任 内田 順文 4年担任 宮地 忠幸

大学院幹事 内田 順文

【2014年度教室行事予定】

4月 2日 ~ 10日	全学年オリエンテーション期間
5月 10日・17日・31日・6月 7日	日本の土壌環境(集中講義)
5月 21日・22日	地理学野外実習A(1年生地理学野外実習)
6月 10日	9月卒業・卒業論文提出〆切(15:00)
6月 14日	国土舘大学地理学会(総会・特別講演)
10月 1日・2日	地理学野外実習B(2年生地理学野外実習)
10月 21日 ~ 24日	地理学野外実習C(3年生地理学野外実習)
12月 10日	卒業論文提出締切(15:00)
12月 20日	国土舘大学地理学会
2月 5日 ~ 7日	卒業論文公開口頭試験
3月 19日	学位記授与式
3月 20日	卒業式

活躍する卒業生（４）地図に未来を、未来を地図に - 地図屋が語る地図の仕事

鈴木敬子・永井麻由佳（株式会社東京地図研究社）

「活躍する卒業生」第4回の今回は、地図製作会社にお勤めの鈴木敬子さんと永井麻由佳さんにご登場いただきました。お二人の対談形式の興味深いお話をお楽しみください。

地図が好き、鉄道が好き、旅が好きー地理学専攻を選んだからには、さまざまなきっかけがあったことでしょう。今年、地図が好きで、地図屋になった卒業生、永井と鈴木の対談形式でお送りします。

私たちが働く東京地図研究社は、京王線の聖蹟桜ヶ丘駅から多摩川を渡って直ぐの所にあり、こんな所に地図会社がある！と、気付いてくださっている方もいるかもしれません。いま地図や地理空間情報に関わる仕事は大変幅広く、皆さんより少し年上の地図屋の「中の人」が、実際にどんな仕事をしているのか、全ては語り尽くせませんが、これまでに担当した仕事を中心にご紹介します。

デジタル地図の最先端- GIS とジオコーディングで社会貢献を

鈴木 永井さんと私、卒業年は大分違うけど、入社年はほとんど一緒だね。まさかゼミの後輩が入社するとは思わなかった。

永井 鈴木さんは有名人ですからね。授業でもゼミでも長谷川先生が話をするので（笑）

鈴木 えー！どんなことを話しているの...少し怖い（汗）ところで、私たち同じ地図屋にいても、やってる仕事はかなり違うよね。

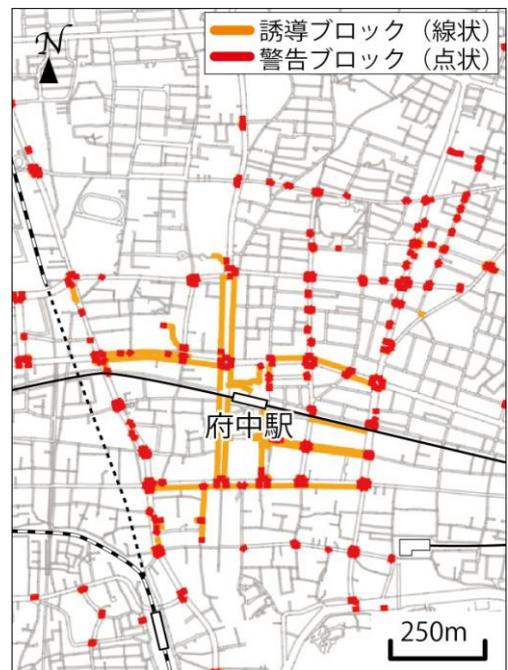
永井 私のメインはジオコーディング（座標付与）です。直接地図を作るわけではなく、地図の素材というか、地図を作るための地理空間情報の整備ですね。建物の位置情報に、エリア情報などと紐付けたデータベース（以下、DB）を構築して空間解析をしたり、大量の住所リストからアドレスマッチングをしたり。GISやAccess、Excelをフル稼働させますが、マッチング・エラーがそれなりに出ます。例えば住所リストに、合併前の市町村名が混ざっていたり。もちろん事前に来る限りクリーニングしていても、どうしても限界があるので、最終的には地形図や空中写真などを使った目視の検査と修正が必要です。

鈴木 GISを使っても、まだまだヒトがやることも多いよね。そうそう、昨年くらいから、福祉関係の設備にも座標を付けて地図化していたじゃない？

永井 はい、社会貢献活動の一環で、歩道にある点字誘導ブロックのジオコーディングというか、地図化にも取り組んでいます。点字ブロックには、点状の「警告」と線状の「誘導」の2種類がありますが、その分布を調査して、DB化しています。点字ブロックは視覚障害の方には大事な指標ですが、調べてみると、途切れていたり、道路工事で取り外されていたりするんです。基本的には航空写真から判読で作成しますが、見えづらいところもあって.... 木や建物の影だったり、公園や団地の敷地内は途中までしか見えなかったり。航空写真も数年前のものだと経年変化もあるので、実際のところは必ず現地調査で確認しています。

鈴木 このDB見ると、分布の傾向が見えてくるよね。

永井 今まで都内を中心に整備していますが、例えば府中駅の周りだと、駅から500m圏内は誘導ブロックが良く整備されています。でも、それを越えると警告ブロックだけになってしまいますね。視覚障害者向けの施設がある高田馬場駅周辺は、特徴的です。点字ブロックのほかにも音声案内つ



府中駅周辺の点字誘導ブロック分布図

永井 麻由佳

2012年卒業。専門は地形学。卒業後、アルバイトとして入社し、10月より正社員に登用。主な業務はジオコーディング、データベース整備。

鈴木 敬子

2005年大学院修了。役所で地理調査を、地図関連団体の機関誌編集を経て地図屋になる。現在も相変わらず地理調査と書籍を担当。

株式会社東京地図研究社

地図製作を続けて半世紀以上。「地図に未来を、未来を地図に」をモットーに、地図編集、地図調製、地理調査、GISによる空間分析、DB構築、出版企画など、業務は多岐にわたる。

きの信号機や横断歩道にも専用ゾーンがあって、視覚障害者へのサポートが他の地域よりも充実しています。

鈴木 地域的な特徴が見えてきて、卒論のテーマにもなりそうだね。

永井 ジオコーディングも点字誘導ブロック DB も比較的簡単にデータが作れるので、これを学生時代に知っていたら、と思いますね。

クラシカルな地図づくりで地理調査を

鈴木 永井さんはデジタル系の仕事が多いけど、私は土地利用や地形分類といった地理調査と、書籍の企画編集を担当していて、思いきりアナログ系。土地利用調査は、明治以降の各時代の旧版地形図を利用して、過去の土地利用を復元してから、現在の状況との分析をしたり。地形分類は、米軍撮影の写真や最新の空中写真から自然地形と人工地形の判読をするもので、原稿は裏焼マイラー⁽¹⁾に手描きという、クラシカルなスタイル。そのぶん手間もかかるし、難しくて独り言をいながら判読していることも.... 社内には、大きな図面を広げられる作業部屋があって、隣には墨製図している人や、ガラスの透写台で作業している人もいてね。そこだけ見ると、古きよき時代の地図屋という雰囲気があるよね。

永井 現地調査も行っていますよね？

鈴木 毎年、秋になると会社にいないよね（笑）全国を飛び回っているけど、とにかく楽しくて！それから、最近の地理調査には委員会があるけど、これはとても勉強になるよ。

永井 委員会というとゼミみたいな？

鈴木 その地域に精通した大学の先生が委員になられて、地域的な特徴や判断の難しい部分をご指導いただくんだけど、複数の先生の前で、1日中ゼミ発表しているような感じ。準備も大変だけど、丁寧に教えてくださるし、とても刺激的だよ。

永井 最終的には、原稿を GIS データにするんですよね？

鈴木 そうだね。GIS データにしてから、空間分析をすることもあるし、地形分類自体にも最近では DEM も利用しているし、デジタル技術も組み合わせて使っているね。図面のほかに、地域の解説書を執筆もすることもあるけど、そういうのは元編集者として燃えちゃうところ（笑）

学生時代のこと

鈴木 最近の大学、私の頃とは大分変わっていると思うけど、卒論はまだあるよね？永井さんのテーマは？

永井 構造土の分布を研究しました。大学に入ってから、最初は海岸地形の研究をしようと思っていました、論文もそっちを読んでいたんですが。

鈴木 山に目覚めた？

永井 3年で長谷川裕彦先生の授業を受けていたときに、夏休みの大雪山調査に同行したい人の募集があって、友達と二人で参加したんです。人生で初めての標高 2,000m 越えて、初めて見るものばかりでした！そのときに構造土を見て、おもしろい地形だと思って、山から降りてきた瞬間に卒論テーマの変更を決意しました。

鈴木 あー、その気持ち、良くわかる！で、GIS も使ったの？

永井 それが、使っていないんですよ。山歩きながら、地形図に書き込んでました（笑）



明治時代の土地利用判読

旧版地形図から判読する。判読基図は旧版地形図を GIS で幾何補正したもの。同時期に作成された異なる縮尺の地図も参考にする。



自然地形判読

空中写真判読を基本に、旧版地形図や文献 DEM なども使いながら、自然堤防や旧河道などの微地形を分類していく。

(1) 製図用のフィルムのこと。温度や湿度による伸縮が少なく、耐久性も高いので何度でも描き直しができる。

鈴木 へえ、意外。GISのヘビーユーザかと思ったよ。でも、国士館の地理って、どの分野の授業も満遍なくあるから、受講した授業の内容が仕事で突然役立つことがない？授業中は、これって将来何の役に立つの？とか思っていたけど。

永井 それ、言ってます！GISや地形学以外にも、例えば、生態系に関することでは、植生地理の知識とか役に立っています。そういうのを活かせるのは、楽しいですね。

鈴木 私も地図学や地図調製法で地形図の奥深さを知ったし、博物館学で学んだことを良く思い出すんだよね。それから、授業以外にも長谷川先生の研究の手伝いで、沖縄の大正期の土地利用判読や分析をしたことがあって。今の土地利用調査は、そのときに古い地形図の記号や判読のコツを覚えたおかげで楽に進められているよ。

永井 大学院はどうでしたか？

鈴木 大学院では、写真判読と地形発達史をほぼマンツーマンで指導していただいたことが、とても大きかったよ。地形図判読で等高線1本の微妙な曲がり方がなぜあるのか、数十cm程の小さな地形がどうしてできたのか、とかで何時間も話が続きたりね。ときどき他大学の院生と合同ゼミをしたり、国内外の巡検に行ったりして、本当に楽しかったな。学位論文をまとめたり、学会発表は大変だったけど、卒業後もそういう仕事はあるし。それも英語だったりして（汗）そういういの、大学院で経験しておいた良かったと思うよ。

就職と地図屋のリアル

鈴木 就職は地図屋に決めていたの？

永井 地図関係ですね。学科と関係ないところも受けようかと思っていましたが、興味のない業界だと志望動機もなかなか思いつかなくて（苦笑）、結局地図系の会社だけを受けました。

鈴木 地図屋の「中の人」になってみて、どう？

永井 やっぱり大変ですね。地図会社という、地図をつかったり編集したりっていうイメージがありましたが、地図になるデータを扱う仕事が多くて、意外と情報系でしたし。それに人数が少ない分、やることも多くて。結構いろいろな仕事があるので、その分やりがいがあります。

鈴木 去年は、書籍の原稿も書いてもらったよね。

永井 GIS講習会のアシスタントやデフォルメ地図作りとか。

鈴木 私は、結局は学生時代の延長を地で行っているというか。特に地図から地域の自然環境や歴史を読み解くような、地理学の得意分野の仕事は、本当に楽しいよ。徹夜続きでヘトヘトのときもあるけどね....



これまでに制作した書籍類

見やすく美しい地図を中心に、わかりやすい文章で伝えられるよう、心がけている。奥の紙は新刊のグラ（近日発行予定）。

学生の皆さんへ

鈴木 これを読んだ地理学科の学生さんが、地図屋で働きたいって思ってくれたら嬉しいよね。

永井 地図が好きで、うーん...体力があるならいいんじゃないですかね（笑）

鈴木 確かに体力は重要！あと、学生時代って遊んだり、バイトも楽しいけど、3年の巡検と卒論だけでも本気でやってみるといいかも。初めて納期の恐ろしさを体験する気がする。

永井 卒論、苦しかったですね。ただ、今納期間近で死にそうになっている身としては、あの頃の方が随分マシに思えます（笑）社会おそろしいです。

鈴木 でも、学生さんには好きなことを仕事にしてもらいたいし、地図が好きならば、地図屋を目指してもらいたいな。好きなことを仕事にしていると、どんなに苦しくても乗り越えられるし。逆にいうと、地図が好きではないと、絶対に続かないよね。

永井 確かに、すごく辛いのに、なんだかんだ続けているのは、好きなことだからだと思います。とはいえ、限界もありますからね。この年度末をなんとか乗り切って、早く一息つきたいところです。

鈴木 ホント、ホント。今日も終電でいいから帰れるかなあ.... それじゃあ、そろそろ仕事に戻ろうか。今日は忙しい中、ありがとう。

(2014年3月28日 府中本社にて)

【地理実習室および地理情報処理室（世田谷 10 号館）の利用について】

（※ よく読むこと）

1. 世田谷 10 号館 2 階 (10201) に地理・環境専攻の学生のための地理実習室があります。地理実習室は、学生の学習用に利用できます。利用法をよく読んで、積極的に活用して下さい。
利用時間と利用方法
毎日 9 : 00 ~ 18 : 00 (原則)
 - ・利用希望者は 5 号館文学部事務室で、カギの貸出簿に、必要事項を記入の上、カギを受け取る。解錠後は所定のカギ掛け（マップケースそば）にカギを掛けておくこと。カギを借り出した者は、退室時には必ず施錠し、カギを文学部事務室に返却すること。
 - ・退出時に他の学生がいて継続して利用したい場合は、あらためてカギを借り出すこと。カギの又貸しは、原則禁止します。
 - ・教員が在室している時は、事務室でカギを借りなくても、自由に入室できます。ただし、教員が退室する場合は、在室者・利用希望者が事務室からあらためてカギを借り出すこと。
 - ・地理実習室は飲食禁止です。整理整頓を心掛け、ゴミ等は廊下にあるゴミ箱に分別して捨てて下さい。
 - ・地理実習室は学習・研究のためのスペースですので、携帯電話も使用禁止です。通話・利用等は玄関か屋外でして下さい。
2. 実習室には地理学に関する基本的図書（多くは貸出も可。貸出方法は下記参照）、地理学関連の辞典もあります。復習・レポート作成時に役立ちます。以前、本地理学教室の教員であった大崎晃先生、日本地理学会元会長・東京大学名誉教授の吉川虎雄先生のご遺族より寄贈いただいた地理学及び関連分野の図書等も配架してあります。こちらも有効に利用して下さい。
国勢調査、事業所統計、工業統計、商業統計、農業センサスなど主要な統計（南関東の諸都県のものを中心）、道路統計年報、港湾統計年報、特定サービス産業実態調査報告書など図書館にない資料もあります。人文地理関係の科目で有効に活用できます。地理学の専門学術雑誌として、地理学評論（数年分）、経済地理学年報（約 20 年分）もあり、最新号が発行されるごとに配架されます。
統計類、雑誌類および辞書類の貸出は禁止です。統計・雑誌の一次持ち出し（コピー）は、教員の許可があればできます。
3. 実習室内には地理・環境関係図書、地理・環境専攻学生専用の端末（PC）とプリンタ、スキャナ等が設置されています。これも学習用に利用できます。情報科学センターの講習を受けた学生に限り、インターネット、メール、その他のソフト（オフィス系）を使用することができます。利用上の注意は、情報科学センターの端末と同様です（学習に関係ないネット閲覧、ゲーム等は禁止です）。なお、GIS やリモートセンシング関連のソフトもインストールされているので、宿題や課題などもこれらの PC で行うことができます。
4. 情報実習室は、学校荒らし・空き巣常習者などに狙われやすく、盗難のおそれがあるので、室内にモノを置いたまま外出しないようにして下さい。
なお、地理実習室内には防犯を目的として 2 台のネットワークカメラが設置されています。このカメラで撮影された動画は、地理情報処理室にあるネットワークハードディスクに保管されています。防犯と危機管理の面からもカメラの設置は必要ですので、理解と協力をお願いします。
5. 地理実習室の向かいにある地理情報処理室は基本的に研究向けスペースとなります。特殊なソフト・機器等を利用するためのスペースと考えて下さい。使用については教員と相談して下さい（同級生が在室・作業等していても、通常利用の学生は地理実習室の方を利用して下さい）。

実習室の図書の閲覧および貸出方法（※ 必ず読んで、ルールを熟知すること）

- ▼ 研究室備品の地図・空中写真・製図道具等は、実習室内でのみ閲覧・利用して下さい。
- ▼ 利用する人は（教員も含めて）、見たり借りたりした本を必ず元の位置に戻すようにして下さい（図書は分野別に配架されています。おおよその位置は借り出す際、覚えておいて下さい）。多くの学生・教員が利用します。実習室に図書・資料を放置することなどないように、注意しましょう。
- ▼ 貸出は、「図書貸出簿」（雑誌ラックに置いてある青色の B4 ファイル）に、書名・住所・氏名など必要事項を記入の後、教員のチェックを受け、サインをもらって下さい。
- ▼ 返却も、必ず教員のチェックを受け、「図書貸出簿」にサインをもらって、各自責任を持って所定の書架（置いてあった場所）に戻して下さい。
- ▼ 3・4 年生はできるだけゼミの先生からチェックを受けて下さい。
- ▼ 貸し出し期限は 2 週間です。厳守して下さい。
- ▼ 以上を守らず、無断持ち出した者、貸し出し期限を守らない者には、相応のペナルティが課されます。

【地理学教室・購入図書資料リスト（2013年度）】

※ 書名と出版社名のみ

※ 自分の興味に近いような本がありませんか？基本的に地理実習室に置いてありますので、まずは手にとって内容をみてみましょう。貸出できる本も多いので、興味ある本は借りてじっくり読んでみましょう。

【全集等】

- インド（日本地誌シリーズ5） 朝倉書店
 - ブラジル（世界地誌シリーズ6） 朝倉書店
 - アジアの歴史地理 全3巻 朝倉書店
 - 都市の暮らしの民俗学 全3巻 吉川弘文館
 - 暮らしの中の民俗学 全3巻 吉川弘文館
 - 環境の日本史①日本史と環境一人と自然— 吉川弘文館
 - 環境の日本史②古代の暮らしと祈り 吉川弘文館
 - 環境の日本史④人々の営みと近世の自然 吉川弘文
 - 完訳 日本奥地紀行1—横浜—日光—会津—越後（東洋文庫 819） 平凡社
 - 完訳 日本奥地紀行2—新潟—山形—秋田—青森（東洋文庫 823） 平凡社
 - 完訳 日本奥地紀行3—北海道・アイヌの9世界（東洋文庫 828） 平凡社
 - 完訳 日本奥地紀行4—東京—関西—伊勢日本の国政（東洋文庫 833） 平凡社
 - 人文地理学事典 丸善出版
 - 日本地理学人物事典 近代編 1 原書房
 - 日本地理学人物事典 近代編 2 原書房
 - 民俗小辞典 食 吉川弘文館
 - 民俗小辞典 死と葬送 吉川弘文館
 - 民俗小辞典 神事と芸能 吉川弘文館
 - 世界の少数民族文化図鑑 柗風舎
 - 食の民俗事典 柗風舎
 - ビジュアル大事典 農業と人間 農文協
 - 日本歴史災害事典 吉川弘文館
 - 世界の地図の歴史図鑑 柗風舎
 - 世界の鉄道の歴史図鑑 柗風舎
 - 全世界の河川事典 丸善出版
 - 新版 地域分析—データ入手・解析・評価 古今書院
 - 市民のためのGIS講座 第3版—地図化する
と見えてくる 古今書院
 - 三訂版 GISと地理空間情報 古今書院
 - GISで楽しい地理授業 古今書院
 - 図解 ArcGIS10 Part2—GIS実践に向けての
ステップアップ 古今書院
 - ArcGIS for Desktop 逆引きガイド 10.1 &
10.2 対応 ESRI ジャパン
 - 地域支援のためのコンパクトGIS—「地図太
郎」入門 古今書院
 - Quantum GIS入門 古今書院
 - 景観再考—景観からのゆたかな人間環境づくり
宣言— 鹿島出版会
 - 地図の楽しみ方 洋泉社
 - 地図はどのようにして作られるのか ベレ出版
 - 増補・明治期迅速測図の基礎的研究 之潮
 - カメラが撮らえた 富士山の明治・大正・昭和
中経出版
 - レンズが撮らえた幕末明治の富士山 山川出版社
 - 写真は語る 南アメリカ・ブラジル・アマゾンの
魅力 二宮書店
- ### 【自然地理関係】
- 自然地理学（第4版）—地球環境の過去・現在
・未来— 慶應義塾大学出版会
 - 図説 世界の自然環境 古今書院
 - 理科年表 平成26年 机上版 丸善出版
 - 博物学の時間：大自然に学ぶサイエンス 東京大学出版会
 - 自然景観の謎 産調出版
 - 自然景観の成り立ちを探る 玉川出版会
 - 観光学の自然学—ジオパークで学ぶ—古今書院
 - 北海道の環境と地学 東洋書店
 - 学んでみると気候学はおもしろい ベレ出版
 - 極端化する気候と生活—温暖化を生きる— 古今書院
 - 気候変動を理学する—古気候学が変える地球環
境観— みすず書房
 - 二つの温暖化 成山堂書店
 - 砂漠と気候（改訂版、気象ブックス14） 成山堂
 - 黄砂の科学（気象ブックス18） 成山堂
 - 世界の風・日本の風（気象ブックス20） 成山堂
 - 日本海の気象と降雪（気象ブックス25） 成山堂
 - 南極・北極の気象と気候（気象ブックス27） 成山堂
 - ヒートアイランドと都市緑化（気象ブックス29） 成山堂
 - 酸性雨から越境大気汚染へ（気象ブックス36） 成山堂
 - 地下水調査法—1m深 地温探査 古今書院
 - 地球全史の歩き方 岩波書店
 - ジオアーケオロジー 朝倉書店
 - 新編 火山灰アトラス—日本列島とその周辺— 東京大学出版会
 - 図説 日本の海岸 朝倉書店
 - おきなわの石ころと化石 島じまの地層め
ぐり 編集工房 東洋企画
 - 東京の地名：地形と語源をたずねて 河出書房新社
 - 世界の山岳大百科 山と溪谷社
 - 地形と鉄道：東京凸凹地形案内3 平凡社
 - 東京凸凹地形案内 5mメッシュ・デジタル標
高地形図で歩く（太陽の地図帖） 平凡社

- 東京凸凹地形案内 25m メッシュ・デジタル標高地形図で歩く 武蔵野・多摩エリア (太陽の地図帖) 平凡社
 - まるごと観察富士山 誠文堂新光社
 - 地形観察ウォーキング 誠文堂新光社
 - 海のがっこう 教師向け海辺の観察会企画マニュアル 東海大学出版会
 - 採集して観察する海岸の石ころ 誠文堂新光社
 - 防災教育のすすめー災害事例から学ぶ 古今書院
 - 関東大震災と土砂災害 古今書院
 - 津波と海岸林ーバイオシールドの減災効果ー 共立出版
 - 改訂新版 建設工事と地盤地質 古今書院
 - 東日本大震災津波詳細地図 改訂保存版 古今書院
 - 日本維管束植物目録 北隆館
 - 植物分類学 東京大学出版会
 - 植物の特徴を見分ける本 恒星社厚生閣
 - 野に咲く花 (山溪ハンディ図鑑 1、増補改訂新版) 山と溪谷社
 - 山に咲く花 (山溪ハンディ図鑑 2、増補改訂新版) 山と溪谷社
 - 日本の野鳥 (山溪ハンディ図鑑 7、増補改訂) 山と溪谷社
 - 日本の海水魚 (山溪ハンディ図鑑 13) 山と溪谷社
 - 増補改訂新版 日本の樹木 (山溪カラー名鑑) 山と溪谷社
 - 増補改訂新版 日本のきのこ (山溪カラー名鑑) 山と溪谷社
 - 冬芽でわかる落葉樹 (改訂版) 信濃毎日新聞社
 - 身近な雑草の芽生えハンドブック 文一総合出版
 - 生垣図鑑ー新しい生垣の提案ー 経済調査会出版部
 - 日本産魚類検索 第三版 東海大学出版会
 - 日本産魚類生態大図鑑 東海大学出版会
 - 植生のリモートセンシング 森北出版
 - 富士山は里山である 農文協
 - 森林学への招待 筑波大学出版会
 - 大都会に息づく照葉樹の森ー自然教育園の生物多様性と環境ー 東海大学出版会
 - 異端の植物水草を科学する ベレ出版
 - 魚類行動生態学入門 東海大学出版会
 - 河川生態学(KS 地球環境科学専門書) 講談社
 - カラスの自然史ー系統から遊び行動までー 北海道大学出版会
 - オオカミが日本を救う!ー生態系での役割と復活の必要性ー 白水社
 - 野生動物管理のための狩猟学 朝倉書店
 - 昆虫の保全生態学 東京大学出版会
 - 外来生物の生態学ー進化する脅威とその対策ー 文一総合出版
 - アジアの生物資源環境学 東京大学出版会
 - 地球環境学 (京大人気講義シリーズ) 丸善出版
 - 地球環境変動の生態学 (シリーズ現代の生態学 2) 共立出版
 - 身近な地域の環境学 古今書院
 - 宍道湖・中海と霞ヶ浦ー環境運動の地理学ー 古今書院
 - 琉球列島の環境問題 高文研
 - 海岸地帯の環境科学ー生態・保全・計画ー 古今書院
 - 水辺と人の環境学 上一川の誕生ー 朝倉書店
 - 水辺と人の環境学 中一人々の生活と水辺ー 朝倉書店
 - 水辺と人の環境学 下ー水辺と都市ー 朝倉書店
- 【人文地理学関係】
- 都市空間の見方・考え方 古今書院
 - 地域資源とまちづくりー地理学の視点から [地域づくり叢書 2] 古今書院
 - フードツーリズム論ー食を活かした観光まちづくり 古今書院
 - アグリビジネスの地理学 古今書院
 - ベトナムー国家と民族 (上) 古今書院
 - ベトナムー国家と民族 (下) 古今書院
 - 図説アジア・オセアニアの都市と観光 古今書院
 - 観光分析ー計量的アプローチと応用 古今書院
 - 江戸幕府撰日本総図の研究 古今書院
 - 自然環境と農業・農民 古今書院
 - 近世・近代における近郊農業の展開 古今書院
 - 大規模経営の成立条件 農文協
 - 地域再生のフロンティア 農文協
 - 農山村再生の実践 農文協
 - 現代のむら 農文協
 - 対話で学ぶ 江戸東京・横浜の地形 之潮
 - 山村政策の展開と山村の変容 原書房
 - 図説 地震と人間の歴史 原書房
 - 撤退の農村計画 学芸出版社
 - 景観まちづくり論 学芸出版社
 - にぎわいの場 富山グランドプラザ 学芸出版社
 - 山間地政策を学ぶ 成文堂
 - 産地市場・産地仲買人の展開と産地形成 成文堂
 - 農山村再生に挑む 岩波書店
 - 日本の農山村をどう再生するか 岩波書店
 - 鉄道忌避伝説の謎ー汽車が来た町、来なかった町 吉川弘文館
 - 軍隊を誘致せよ: 陸海軍と都市形成 吉川弘文館
 - 都市・過疎地域の活性化と交通の再生 成山堂書店
 - 日本の農業 150 年 有斐閣
 - 基本ケースで学ぶ地域経済学有斐閣ブックス
 - 国際化時代の地域経済学 (第 3 版) 有斐閣アルマ
 - 実践まちづくり読本 公職研
 - 復帰後の沖縄農業 農林統計協会

- 地域調査とはじめ ナカニシヤ出版
- 日本の食はどうかわってきたか角川学芸出版
- 商品化する日本の農村空間 農林統計出版
- 地域づくりの経済学入門 自治体研究社
- 果樹作と庶民と地域の近代化 龍溪書舎
- 鉄道の地理学 WAVE出版
- 多摩の鉄道沿線 古今御案内 けやき出版
- 日本のバス—100余年のあゆみとこれから
鉄道ジャーナル社（発売：成美堂出版）
- 歴史と環境—歴史地理学の可能性を探る
花書院
- 水の都市・江戸東京 講談社
- 近世測量絵図の GIS 分析 古今書院
- 歴史 GIS の地平 勉誠出版
- 日本鉄道史像の多面的考察 日本経済評論社
- 「水」が教えてくれる東京の微地形散歩
実業之日本社
- 鉄道の誕生 創元社
- エネルギー効率から見た日本の農業地域
筑波大学出版会
- 経済センサス 21年版
—基礎調査報告 第1巻 事業所に関する集計 その1 全国結果 統計センター
- 経済センサス 21年版
—基礎調査報告 第2巻 企業等に関する集計 統計センター
- 都市と経済の地理学 原書房
- グローバル化時代の人文地理学
放送大学教育振興会（NHK 出版）
- 立地調整の経済地理学 原書房
- 最新・経済地理学 日経 BP 社（日経 BP マーケティング）
- 空間と距離の地理学 あるむ
- 食料の地理学の小さな教科書ナカニシヤ出版
- 日本民家の研究 ミネルヴァ書房
- 大地へのまなざし 思文閣出版
- 人口減少と地域 京都大学学術出版会
- なぜ地理学が重要か 学文社
- 資源と生業の地理学 海青社
- 生き物文化の地理学 海青社
- コスモポリタニズム 作品社
- 行商研究 海青社
- リヒトホーフエン日本滞在記九州大学出版会
- エスニック地理学
学術出版会（日本図書センター）
- 人文地理学 慶應義塾大学出版会
- 人文地理学 ミネルヴァ書房
- 都市空間の地理学 ミネルヴァ書房
- イギリスの小売商業 政策・開発・都市
関西大学出版部
- 世界市民の地理学 晃洋書房
- 政治・空間・場所[改訂版] ナカニシヤ出版
- 首都圏人口の将来像 専修大学出版局
- 原災地復興の経済地理学 桜井書店
- トランスナショナル化する世界
慶應義塾大学出版会
- 中小工業の地理学 三恵社
- 観光地理学 [第2版] 同文館出版
- 都市地理学研究ノート富山房インターナショナル
- 多言語国家スペインの社会動態を読み解く
ミネルヴァ書房
- 関西圏の地域主義と都市再編ミネルヴァ書房
- レジャーの空間 ナカニシヤ出版
- 観光の空間 ナカニシヤ出版
- 政治・空間・場所—「政治の地理学」にむけて
ナカニシヤ出版
- 観光空間の生産と地理的想像力
ナカニシヤ出版
- 食料の地理学の小さな教科書ナカニシヤ出版
- 温泉リゾート・スタディーズ 青弓社
- 国境を越える 青弓社
- 夜食の文化誌 青弓社
- もんじゃの社会史 青弓社
- 温泉と日本人 青弓社
- 経済地理学キーコンセプト 古今書院
- 日本の特別地域 これでもいいのか世田谷区
マイクロマガジン社
- 日本の特別地域 これでもいいのか世田谷区
第二弾 マイクロマガジン社
- 復興文化論 青土社
- 日本の原風景 町並 光村推古書院
- 世界言語百科 終風舎
- みんなの空想地図 白水社
- 図説ユーラシアと日本の国境
北海道大学出版会
- 新・日本のテーマパーク研究 竹林館
- 新宿学 紀伊國屋書店
- 聖地巡礼ツーリズム 弘文堂
- 物語を旅するひとびと コンテンツ・ツーリズム
とは何か 彩流社
- ツーリズムとポストモダン社会 明石書店
- 日本風景論 新装版（講談社学術文庫）講談社
- 俗都市化—ありふれた景観 グローバルな場所
昭和堂
- 奄美大島の地域性—大学生が見た島/シマの地
域性 海晴社
- たたかう地理学 古今書院
- 限界集落の生活と地域づくり 晃洋書房
- 図解 武蔵野の水路—玉川上水とその分水路の
造形を明かす 東海大学出版会
- 自然の社会地理（ネイチャー・アンド・ソサエ
ティ研究 5） 海青社
- 城下町 吉川弘文館
- 鉄道復権 新潮選書
- 川から見た国土論 鹿島出版会
- 世界鉄道史 河出書房新社
- 「大学町」出現 河出書房新社
- 鉄道の「知」を探る 山川出版社
- 軍港都市史研究 2 景観編 清文堂出版
- 鉄道は生き残れるか 中央経済社
- 多摩ニュータウン物語 鹿島出版会
- 団地の空間政治学 NHK ブックス

- | | | | |
|---|-------|-----------------------|------|
| ○ 森林の江戸学 | 東京堂出版 | ○ 小商圈時代の流通システム | 古今書院 |
| ○ 「くにたち大学町」の誕生 | けやき出版 | ○ 都市地理学序説（改訂新版） | 古今書院 |
| ○ レッドアローとスターハウス | 新潮社 | ○ 朝鮮王朝の街道 | 古今書院 |
| ○ 運河と閘門 | 相模書房 | ○ 「近代化遺産」にみる国家と地域の関係性 | 古今書院 |
| ○ 東日本大震災からの農林水産業と地域社会の復興
（シリーズ 21 世紀の農学） | 養賢堂 | ○ 近代美濃の地域形成 | 古今書院 |
| ○ 生活用水・排水システムの空間的展開 | 人文書院 | ○ 世界の一隅に生きる人々と社会 | 古今書院 |
| ○ 現代の立地論 | 古今書院 | ○ 歴史災害を防災教育に生かす | 古今書院 |

【地理学教室・購入主要備品リスト（2013 年度）】

- | | |
|----------------|-------------------|
| パーソナルコンピュータ（3） | 製図ペンセット（7） |
| GPS デジタルカメラ（2） | 製図用定規セット（7） |
| 双眼鏡 | 測量用 2 m 伸縮式ポール（7） |
| 精密機器保管用防湿庫 | 書架（地理情報処理室） |

* 地理学教室の備品・電子データ資料等は教員の指導のもと、学生も使用することができます。
以前に購入した国勢調査の電子データ（従業通学データ）、商業統計表データ（立地環境特性別統計編（商店街ごとの売上などが掲載されたデータ））、事業所・企業統計データ（市区町村別・産業小分類別事業所数のデータも入手可能）、農林業センサス集落カードなどもあります。卒論でも有効に使えます。詳しくは教員（とくに加藤，宮地）まで。

【2014年3月卒業生の進路・就職先】

- | | |
|------------------|--------------|
| ■ 日本郵便 | ■ 喜楽鉱業 |
| ■ 平塚信用金庫 | ■ 京葉測量 |
| ■ JTB 東北 | ■ 富士測地 |
| ■ JTB 首都圏 | ■ 旭調査 |
| ■ Le PROJET（広告業） | ■ 朝日航洋 |
| ■ 東京メトロ | ■ (株)グラフィック |
| ■ 東京千住青果 | ■ 多慶屋 |
| ■ J A ライフ千葉 | ■ 王将フードサービス |
| ■ 椿本チェーンサポートセンター | ■ 日本食研 |
| ■ ホンダ技研 | ■ 社会福祉法人進和学園 |
| ■ ハローコミュニケーションズ | ■ 千葉大大学院 |
| ■ 高俊興業 | ■ 群馬大大学院 |

※ 以上は、2 月初旬時点で地理学教室に、業種だけでなく企業名等も含めた報告のあった分のみ。

以上の就職先に内定を得た学生のうち、何人かに就職体験談を寄せてもらいました。質問内容は次の通りです。次の1～12の質問内容に対する回答を掲載しています。

1.氏名、2.内定企業名、3.業種、4.職種、5.その企業を選んだきっかけは何か？6.内定までの流れ（時期と選考内容）、7.やっておいてよかったこと、8.面接で聞かれたこと、9.失敗談、うまくいかなかったこと、10.この企業に就職することを決めた理由は？11.面接が不合格だった後に努力や工夫したこと、12.後輩へのメッセージ（アドバイス）

1. 川村 尚子
2. 株式会社 JTB 首都圏
3. 旅行業
4. 接客・販売
5. 幼い頃から旅行をするのが好きで憧れの仕事だったことや、WEB 販売を主要とする旅行会社が増えていく中で、弊社は店頭営業を重視しお客様と直接向き合える点が志望理由でした。

6. 2月上旬～中旬 会社説明会
3月上旬 エントリー開始
3月下旬 筆記試験
4月上旬 一次面接（グループ面接）
4月中旬 二次面接（個人面接）
4月下旬 三次面接（役員面接）
5月上旬 最終面接（人事面談，意思確認，内定）
7. とにかく足を運んで自分の目で会社を見極めたことです。あまりネット上の評価に影響されず，自分に合う会社を探しました。
8. ・志望理由
・自己PR
・学生時代に頑張ったこと
・今までに自分が行った海外旅行先の中で，ご年配の方にお勧めする観光地
9. 筆記・WEBテストの勉強を怠ったことです。
10. 第一志望の会社で，なおかつ初めての内定だったので即座に決めました。
11. 「この会社は自分とは合わなかった」ぐらいに考え，すぐに気持ちを切り替えました。
12. 就活に模範解答はないと思っています。あまり用意周到でいくと堅くなりがちなので，自分らしさを忘れずに頑張ってください！

1. 正田 一真
2. 群馬大学大学院教育学研究科教科教育実践専攻社会科教育専修
3. 大学院（進学）
5. 大学院修了後に中学校の社会科教員に就けるよう，地理学をはじめとする社会科に関連する知識を蓄積させながら，社会科教員として求められる能力を高めていきたいと考えたから。
6. 8月 研究室訪問，大学院説明会（群馬大学大学院）
9月 大学院願書（志望理由・研究計画書）提出
10月中旬 入試：筆記（地理学・社会科教育・英語），面接
10月下旬 合格
7. 筆記試験において，過去問3年分を解くことで出題傾向を掴むことができた。また面接では，聞かれそうな質問の答えをあらかじめ考えておくことで論理的に説明できた。
8. 志望理由・研究したいテーマ・卒業論文のテーマ・大学院卒業後の進路・ゼミでの活動についてなど。
9. 面接時，緊張してうまく自分の伝えたいことを伝えられなかった。
10. 2年間地理学の学びと研究を深化させながら，中学校社会科および高等学校地理・歴史科の専修免許状を取得できるから。
11. なぜその進路先にしたいかを改めて考え直し，もう一度ノートに書いてみました。
12. 仲間や周りの人たちを頼って，一人で抱え込まないようにしましょう。最後まであきらめずに頑張ってください。

1. 添野 真広
2. 富士測地株式会社
3. 建設業
4. 技術職
5. やりたいことができると思えたため。
6. 書類選考＋個人面接(5月頃)
7. 志望動機をしっかりと考え抜くこと。
8. 志望動機，どんな技術者になりたいか，大学で力を入れていたものなど。
9. 面接で緊張してしまい，言いたいことが言えない場合が多かった。
10. 一番はじめに内定をいただいた企業だからです。
11. 冷静になりもう一度志望動機などを考え直しました。
12. 就職活動は大変だと思いますが，自分のペースで頑張ってください。卒業論文も就職活動と同じように大切なのでそちらも頑張ってください。

1. 高橋 幸平
2. 東京地下鉄株式会社
3. 運輸業
4. エキスパート職

5. 東京の大動脈を担う鉄道会社である。また、責任ある仕事に就きたかったため。
6. 3月下旬：WEB エントリー
4月上旬：筆記試験(クレペリン検査，自社作成問題←簡単)
4月中旬：集団面接
5月上旬：個人面接，健康診断
5月中旬：内々定連絡
7. 質問に対して，文ではなく，もっとも言いたい単語だけ覚えていったこと。こうすることで，文章が出てこないとき，スムーズに受け答えができた。
8. 集団：1) 自分の長所・短所 2) 学生時代頑張ったこと 3) 頑張ったことを仕事にどう反映せるか 4) キャリアプラン
個人：1) 志望動機 2) 専攻で学んだ事をどのように仕事で活かせるか 3) ストレス解消法 4) 先輩やお客様との接し方
9. 特にないです。
10. 将来，現場だけでなく企画部門や不動産部門において勤務が可能なこと。
11. グループワークでしゃべりすぎてしまったこと。
12. 鉄道会社の採用は，①なぜ弊社を志望するのか。②今までの経験をどう仕事に活かせるかについて，自分なりの考えを持っている人を採用していると思います。不況になると鉄道会社が人気になると言いますが，明確な目標を持っていれば必ず内定を取れるはずですよ。余談ですが，同期は野球経験者，サッカー経験者が多いです。

1. 田原 直人
2. 日本郵便株式会社
3. その他サービス業
4. 集配営業
5. 一度アルバイトをしたことがあったため。
6. グループディスカッション (4月下旬)
1次面接 (5月中旬)
最終面接 (5月下旬)
7. SPI 等の計算問題はやっておいたほうが良いです。一度習ったことなのですが，大抵忘れていました。またエントリーシートを友達に見てもらったこと。
8. 自己PR，志望動機はもちろんです。大学で学んだことをどう活かせるか。他には「あなたを動物にたとえたら？」という質問もありました。
9. 面接で第一志望じゃないと真面目に言ってしまったこと。これで落とされてしまいました。面接では必ず第一志望と言ったほうが良いです。
10. 面接官の印象がとてもよかったことと，内定を頂いた企業がここだけだったため。
11. 面接でハキハキと言えるように練習し直しました。自己PRと志望動機は丸暗記せず，ポイントの用語だけを覚えて練習しました。また，質問事項は面接終了後にメモに残し，次回からは言えるように内容を考えました。
12. お祈りメールばかりがきて落ち込んでしまうこともあります。決してあきらめずに続けることです。また周りの友達がどんどん内定が決まっても焦らないこと。気にせず自分のペースで就活を続けていきましょう！

1. 浪床 祐貴
2. 朝日航洋株式会社
3. 運輸(航空)，測量・GIS
4. 技術職
5. 地図に関係する仕事をしたいと考えていたことからその関係の業種を志望としており，そこから内定先の企業へと絞った。
6. 2月下旬 会社説明会
3月下旬 エントリーシート提出
4月下旬 1次面接(グループディスカッション)・筆記試験
5月上旬 2次面接(集団面接)
5月下旬 最終面接(個人面接)→内々定
7. 2月,3月の時期に難関といわれる企業，業種の面接を出来るだけ受けて面接に対する自信をつけたこと。
8. 基本情報はエントリーシートに記入しているので補足的なことか，そこにはない情報を聞くために質問されることが多かった。聞かれる頻度の高かった質問は志望動機，大学で学んだ内容，自己PR等。

9. 就職活動を始めるのが少し遅れたことと、就職活動を始めて2ヶ月くらいはほとんど面接試験を通過できなかったこと。
10. 面接をして下さった社員さんが明るい方々だったことで会社の雰囲気の良さを感じられたことと同業他社と比べ福利厚生が良かったこと。
11. 面接に慣れるために多くの業種の面接を受けたことと面接で落ちた後に何が悪かったのか問題点を考えたこと、気持ちを切り替えるために就活以外の時間(遊びや趣味の時間)も大切にして生活にメリハリをつけたこと。
12. 今就活をしている人で面接が苦手な人は、本命の企業の面接を受けるまでに他業種でも良いので、面接を受けに行くなどして練習をしておくとうまいと思います。授業も始まり両立するのは大変だと思いますが、ずっと打ち込むのではなく休息を適度に入れながらやっていくとうまいと思います。これから就活をする人は出来るだけ早い段階で準備をしておいてください。自分が就活のなかでどのようなことが苦手なものをどのように対策していくか、それが早いか遅いかによって就活に差が出てきます。就職活動は様々な会社のことを知る機会になりますが、他大学の人などとの出会いも多く普段の大学生活とはまた違った刺激を得られます。みなさんがそれを活かしながら、楽しんで就職活動を終えられたらと思います。

1. 前田 政彦
2. 高俊興業(株)
3. 産業廃棄物処理
4. 営業
5. 環境問題について学んでもいたので生かそうと思った。
6. 4年次 10月 面接3回
7. 自分の伝えたいことを重点的に決めて面接に臨んだ。
8. 志望動機など
9. 始める時期が遅かった
10. 休みがある
11. 気持ちを常に前向きに
12. 卒論の作成時期と被らないように就活を進めてください。

地理学教室では、毎年3回、学生と教員を結ぶ情報誌としてニューズレターを発行しています。このニューズレターは1986年から続いているものです。歴任教員が熱意をもって歴史を重ねてきました。どうか、学生の皆さんもこのニューズレターをしっかりと読み、充実した学生生活の一助としてください。

過去のニューズレターは、国土館大学地理学教室のホームページからダウンロード可能です。

<http://bungakubu.kokushikan.ac.jp/chiri/NewsLet/NEWS.HTM>

さて、年度初めに発行しているニューズレターには、例年、前年度の優秀論文一覧や教員の研究活動などの情報を掲載してきました。これらの情報は、以下の情報とともに次号(5月連休明けに発行)に掲載します。お楽しみに。

◆ニューズレター58号(予告)◆

- ・2014年度教員在室表
- ・2014年日本地理学会春季学術大会開催報告
- ・2013年度優秀卒業論文一覧
- ・大学院生紹介
- ・2013年度国土館大学地理学会冬季巡検報告
- ・留学生 学びの旅
- ・2014年度海外研修(第1報)
- ・2013年度における教員研究活動